

# 事業所における自己評価結果 (公表)

公表： 平成30年3月12日

児童デイサービスあおねっと青森南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	100%		・物理的構造化を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか	100%		・物理的構造化を行っている。 ・バリアフリーである。
	④	建物や生活スペースは清潔で整理された空間になっていると思いますか（各ルーム・食事場所・トイレ等）	100%		・衛生管理が徹底されている。
	⑤	事業所内の安全対策が十分に取られているか	100%		
業務改善	⑥	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%		
	⑦	保護者向け評価表により保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	100%		・昨年度より厚生労働省のモデルを元に事業所アンケートを取っている。 今年度は事業所評価として行った。
	⑧	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の広報誌やホームページ等で公開しているか	86%	14%	・公表には至っていない。
	⑨	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	71%	29%	・第三者評価は評価機関がなく、行えていない。 ・毎月、オンブズマンが来所されている。
適切な支援の提供	⑩	職員の資質向上を行うため、研修の機会を確保しているか	100%		・特に発達障害関係の研修について参加している。
	⑪	アセスメントを適切に行い、児童と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援・放課後等デイサービス計画（個別支援計画書）を作成しているか	100%		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援および移行支援）」・「家族支援」・「地域支援」で示す支援内容から児童の支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	86%	14%	・項目ごとには設定されていない。 H30年度より統一して行く予定。

適切な支援の提供	⑬	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの総則の基本活動（自立支援・創作活動・地域交流の機会・余暇）を複数組み合わせる支援を行っているか	100%		
	⑭	児童発達支援・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	100%		
	⑮	児童の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		
	⑯	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		
	⑰	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	100%		
	⑱	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	100%		
	⑲	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画書を作成しているか	100%		
	⑳	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせ（朝会）をし、その日行なわれる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		
	㉑	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせ（夕会）をし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点など共有しているか	100%		
	㉒	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		・記録…ソフト導入済み。 家庭とのやりとり…連絡帳
	㉓	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しているか	100%		・支給決定月(誕生日)に合わせ、6ヶ月後とに実施している。(相談支援事業所・保護者との面談それぞれを行う。)
関係機関や保護者との連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通したもっともふさわしいものが参画しているか	100%		・できるだけ、児童発達支援管理責任者と担当職員が同席している。
	㉕	母子保健や児童・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	100%		・行政機関との連携を行っている。
	㉖	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		・認定こども園、保育所との連携(支援の共有、訪問、アセスメント、手順書作成と共有)を行っている。
	㉗	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		・ご家族、相談支援事業所との相互に学校での支援会議への参画。

	㉔	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%		・各学校より、送迎時または郵送にておたよりを共有。連絡調整は適宜電話、訪問等に行っている。
関係機関や保護者との連携	㉕	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等間で情報共有と相互理解に努めているか	100%		・認定こども園、保育所との連携(支援の共有、訪問、アセスメント、手順書作成と共有)を行っている。
	㉖	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%		・支援会議等を通して行っている。
	㉗	医療的ケアが必要な児童や重症心身障害のある児童等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援をおこなっているか	100%		・医ケア児の受入は行っていない。重度心身障害児の受入、研修への参加を行っている。
	㉘	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	100%		・研修等への参加は積極的に行っている。
	㉙	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない児童と活動する機会があるか	0	100%	・特に行っていない。
	㉚	（自立支援）協議会、障害者部会等へ積極的に参加しているか	43%	57%	・自立支援協議会への参加はしていない。依頼、開催案内もない。
	㉛	日ごろから児童の状況を保護者と伝えあい、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		・連絡帳または電話にて自宅での様子、相談を受け助言を行ったり、状況の共有を図ったりしている。
	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%		・H29年12月ペアレントトレーニング研修を行っている。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画書」を示しながら支援内容の説明をおこない、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		・アセスメント、モニタリングを経て計画書に反映し、同意、署名、捺印を頂いている。
	㉞	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「放課後等デイサービス支援計画書」を示しながら支援内容の説明をおこない、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	100%		・アセスメント、モニタリングを経て計画書に反映し、同意、署名、捺印を頂いている。
	㉟	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		・電話や連絡帳の他、面談時に本人のみならず、ご家族の状況を伺うようにしている。
	㊱	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%		・毎年、4月に家族懇談会を開催しており、参加可能なご家族が参加している。

保護者への説明責任等	④①	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		・ 契約時、確認があった際に説明を行っている。
	④②	子供や保護者から苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		・ 相談の多いが、迅速丁寧に対応している。
	④③	定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	100%		・ 毎月、広報誌を発行している。
	④④	個人情報に十分注意しているか	100%		
	④⑤	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		
	④⑥	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っているか	100%		
非常時の対応	④⑦	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか	100%		
	④⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		・ 毎月、避難訓練を実施し、必要な物品の確保を行っている。
	④⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		・ 毎月、虐待防止のチェックを実施、研修会への参加も行っている。
	⑤⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%		・ 対象児童はいないが、必要時には保護者への連絡、同意、事前に会議での決定、委員会での伝達を行い、個別支援計画書への反映を
	⑤⑪	食物アレルギーのある子供について医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		・ アレルギーがある児童に対しては、契約時にご家族に確認、配慮している。 緊急を要する配慮が必要な児童は現在いない。
	⑤⑫	ヒヤリハット、インシデント事例を作成して、事業所内で共有しているか	100%		当日中にインシデント報告書を作成し、速やかに職員で共有している。

■この事業所における評価表は、事業所全体（児童発達支援・放課後等デイサービス）で行った自己評価です。